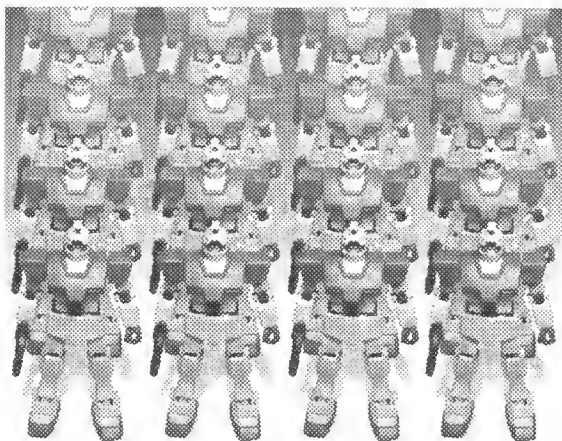


MS

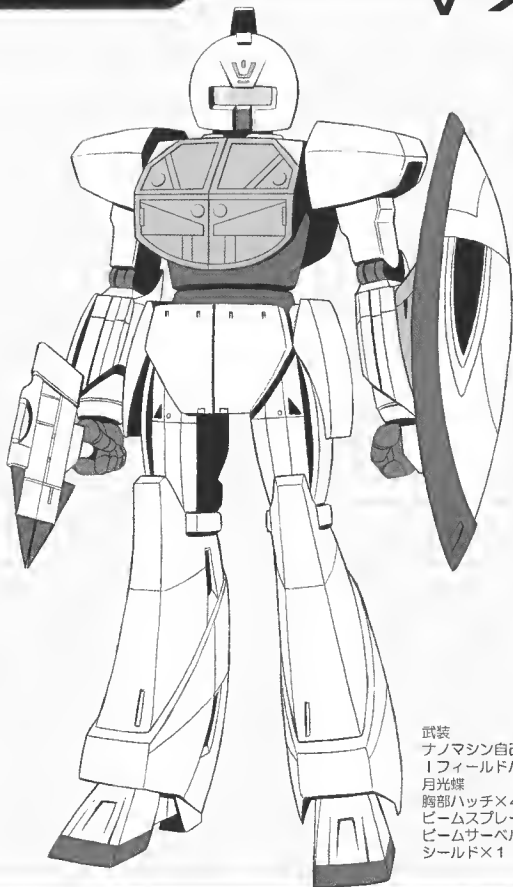


MASS PRODUCTIONS



お題

**ガンダムって作品に
出てきそーな
量産型 MS を描いてみよう**



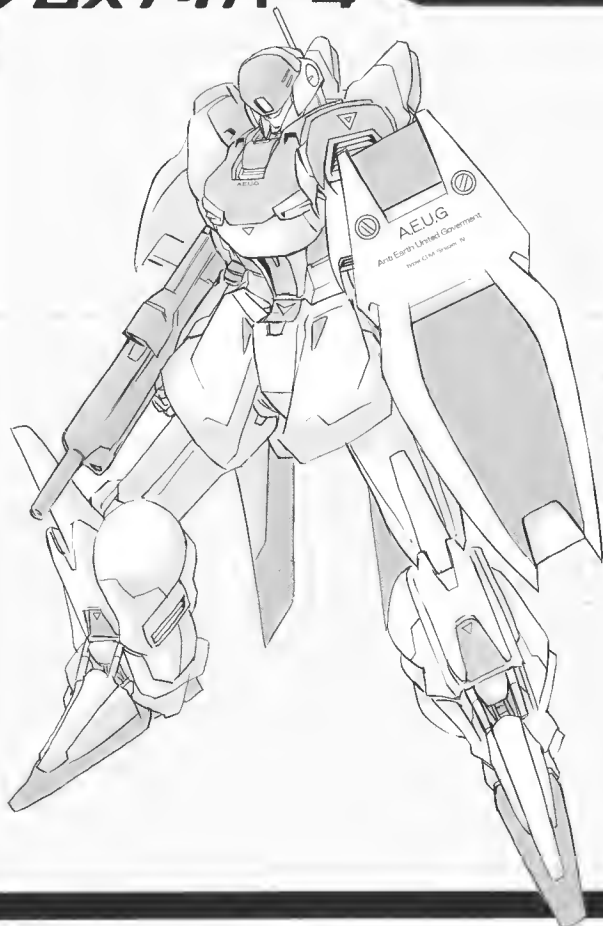
武装

ナノマシン自己修復機能
1フィールドバリア
月光蝶
胸部ハッチ×4
ビームスプレーガン×1
ビームサーベル×1
シールド×1

地球のマウンテンサイクルで発掘された「Ζ（ターンエー）ガンダム」の量産型と思しき機体。
微弱ではあるが「月光蝶」の能力を搭載しており2000年前Ζガンダムが地球の文明を塵に返した際その
手伝いをしたと思われる。
アーク山のかかなり深い場所に埋まっていたため発見された時には既にムーンレイスと地球軍の戦いは終結し
ており戦闘に使用される事は無かった。
現在はビシニティの農業組合が農耕機として使用している。

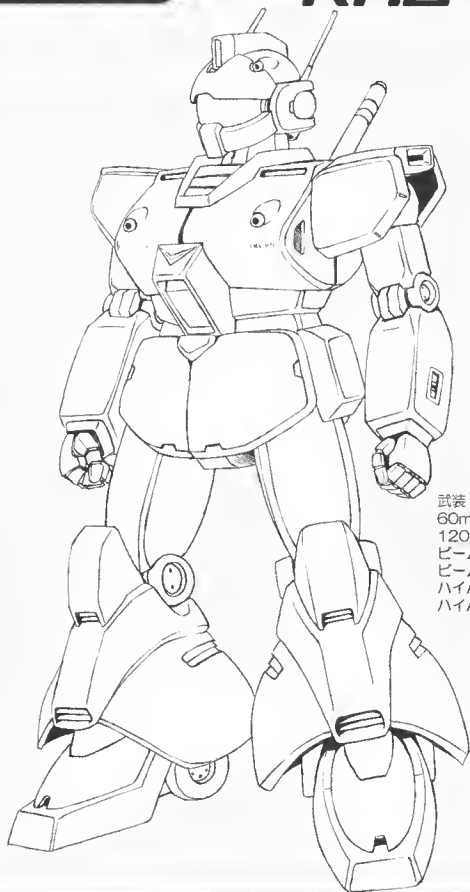
ジムスナイパー4

production
manager ms



ジムスナイパーの発展型として、エゥーゴによって開発された機体。
少量生産されたがまもなく終戦となり、期待された戦果を上げることが出来なかった。
とても、悲しい。

RHG-80



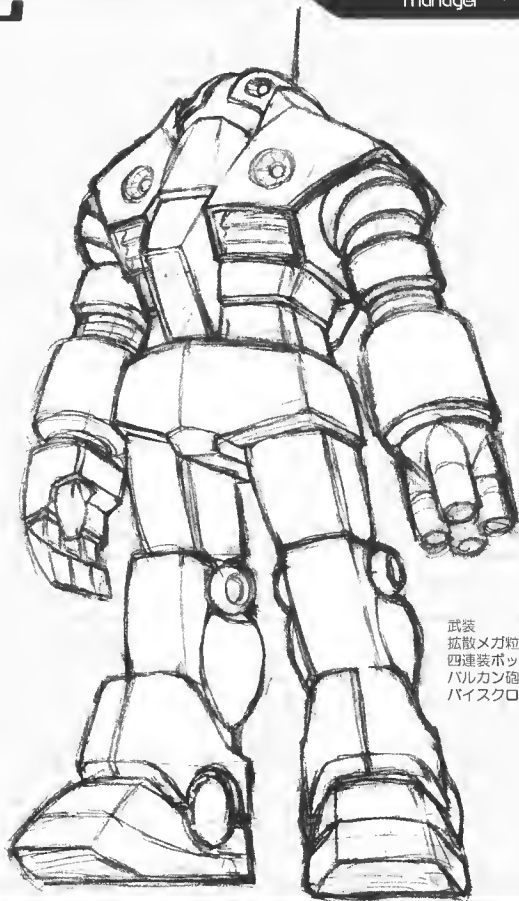
武装

60mmバルカン砲×2
120mm砲×2
ビームサーベル
ビームライフル
ハイパーバズーカ
ハイパーハンマー

オデッサ戦線にて出現したジオンの新型重MSドムは、重装甲、重武装でありながら、脚部に搭載した熱核ジェットエンジンによって高速ホバー走行が可能であり、その高い機動性によって連邦側の戦線を大混乱に陥としいれた。これまでのMS地上戦の概念を一新する強烈な突撃力は連邦軍に強い衝撃をあたえ、それに対抗するべく急遽開発されたのがこのRHG-80である。

開発期間を短くするため機体設計はRGM-79をベースとし、脚などのマニピュレータはそのまま流用されたが、追加装甲と大型ジェネレータの換装による重量増加のため脚部はほぼ新規設計となった。しかし脚部に搭載される予定の熱核ジェットエンジンの開発に難航、辛うじて小型化されるものの出力が十分ではなく、走行時の安定のため筋肉の架として補助輪を装備している。

他にもいくつかの問題点が指摘されたが、重MSとしての有効性は認められて正式採用となり、先行生産された機体によって重MS大隊が発足した。しかし既に戦いの場は宇宙へと移っており、大規模地上戦を交えることなく終戦を迎え、残りの生産はキャンセルされた。



武装
 拡散メガ粒子砲×2
 四連装ポップミサイル×1
 バルカン砲×2
 バイスクロー×1

連邦が制海権を奪還すべく投入した水中用量産型。

その外観や武装がすべて内装式であることについては明らかにジオンの水中用MSを意識したものであり、その点では非常に評判の悪い機体であった。

だが、模倣故の堅実さと流用パーツの信頼性の高さもあり、決して粗悪な機体だったわけではなかったようだ。



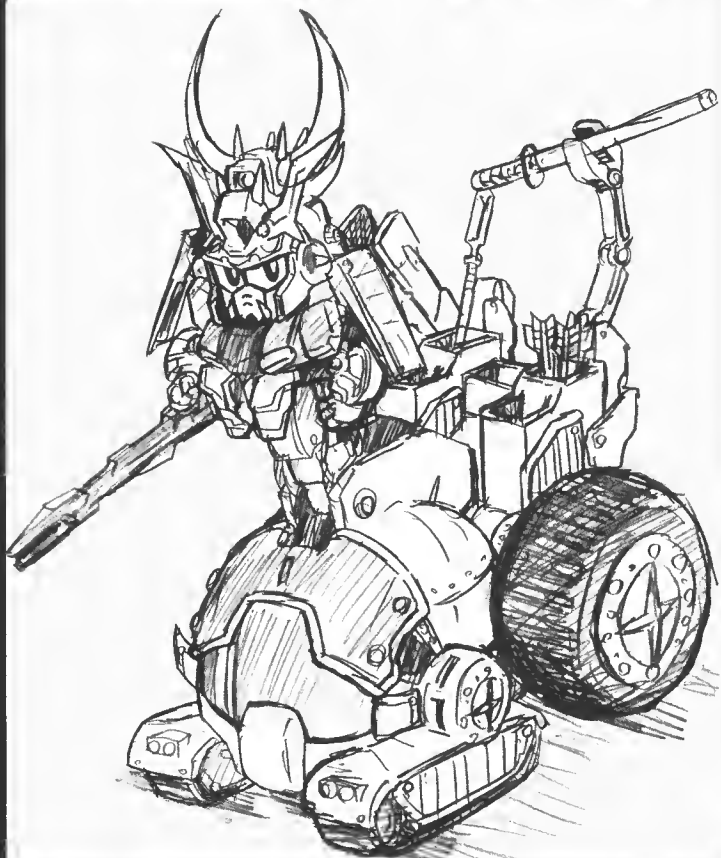
激化する大戦末期、ドズル中将指揮の元「戦いは数」の掛け声と共にMSのコストダウンを図る過程で生まれた、言わば量産型ザクの「量産型」。水陸両用型の頭部一体型コンセプトを取り入れる事による大幅なコストダウンに留まらず装甲全船が申し訳程度まで減らされており、標準武器の所持もないこのMSは結果として物量による肉弾戦の為に使い捨て同然と言った使用法で用いられる事となった。

折りしも実戦投入が学徒動員の時期と重なり、高度な操縦テクニックを必要とする他のMSに比べ扱い易いこの機体は必然学生パイロットに率先して回される事となった。その数はロールアウトされた機体の実に95%にも上ったと言う記録が残っている。そしてこのMSで戦線に出た学生のほとんどは2度と故国の地を踏むことが出来なかったのである。

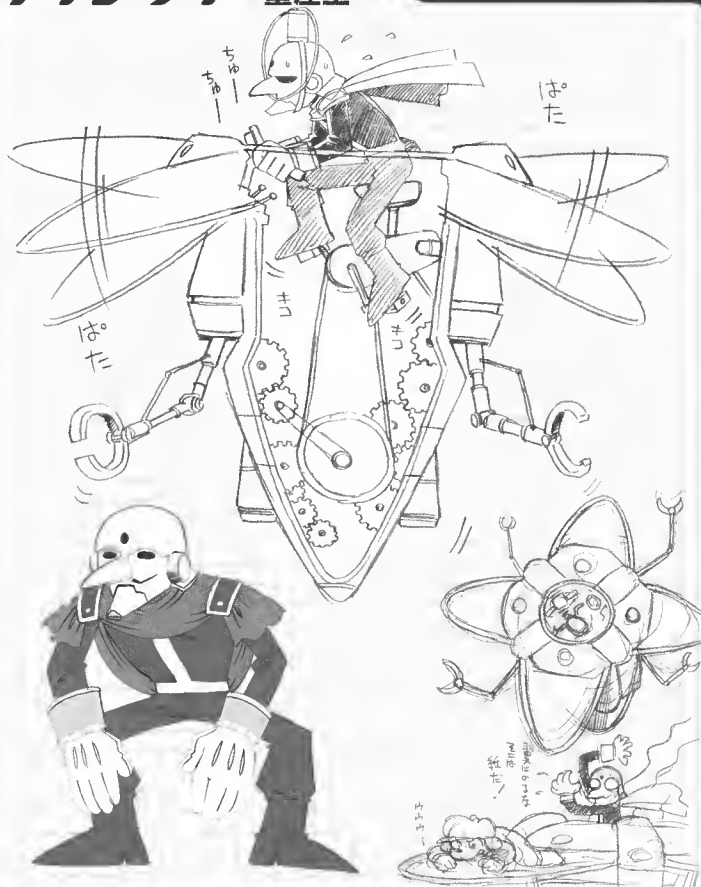


ケンプファーを量産してみただけでお金がなくて武装を減らされちゃったので、装甲を硬くして色も黒くして闇夜にまぎれて敵を集団でタコ殴りにする、隠密一撃必殺戦法専用機体になってしまいました。という訳で、量産機なのにやたらと搭乗員の高い練度が必要になる機体になってしまいましたとさ。

量産型天鎧王



少年時代に起動武神天鎧王を見た撃流破頑駄無がそれをモデルに作った鉄機武者用支援からくり。
鉄機武者と合体して火力・機動力を強化する。当初は天鎧王と同じく変形機構が搭載される予定だったがコストがかかりすぎるため省略された。
当時の天宮の国は百鬼夜行衆との戦いで荒廃した国土の復興に全力であたっていたため、そんな余裕はなかったのである。
テストには鉄機武者爆進丸が協力した。しかしその後の天宮じゃ数百年太平の世が続き、このからくりが活躍することはなかったという。



人力ゆえ長時間操縦してるとめまいがしてガンダムがたくさん見えます。

モビルザッシュ



ザフトがガイアの量産型として開発したMS。

意外と複雑だったガイアの変形機構の見直しをはかり、一気に簡素化。頭部は両形態共用のものが用意され、脚部にはバクゥのパーツが流用された。それにより、ガイアの特徴的な運動性能はほぼそのままに、より扱いやすい機体として完成したのである。

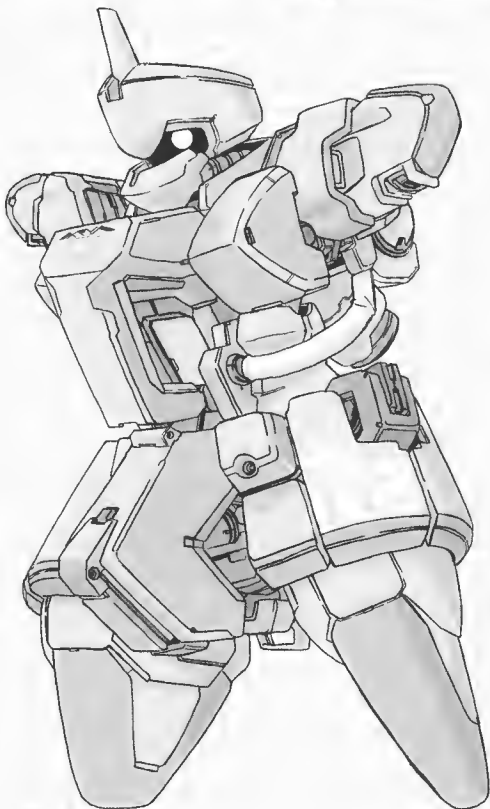
だが、運命のいたずらからザッシュは戦場にて連合のワイルドダガーと遭遇する。しかも皮肉なことに海賊版であるはずのワイルドダガーの方が武装面ではるかにザッシュを上回っていたのだ。

果たしてザッシュは本家直系の面目を保つことができるのであろうか…。

MSO-003 ザム

production
manager

ふぢまるありくい



「即なんて経ります」

ア・バオア・クー戦で整備兵が士官に当たって吐いた有名な言葉がある。実際計画当初MSに脚は付いていなかったのだ。無重力空間での運用は開発によるAMBACと各所に設けられたアホシ・モーターで十分だった。しかし高圧部とこだわったザビ家の意思によって強げ付けられ人型となる。一年戦争末期、物資の不足したジオンが戦艦を一撃させるMSの開発を急務とした。コストが低く、大量生産できるMS計画。それがゲニー技術士官によって提唱された「乙計画」である。ジオン本土での戦料決戦を急務に急力下での行動は想定せず、膝どころか咽喉さえもとり外し、徹底的にコストダウンを計り、身体の内蔵によってAMBACシステムも可能なうえオプションの装備によってバリエーション展開も容易という超変MAのような機体がMSO-003 ザムである。しかし心無い兵士から「だもま」と罵られ、ジオン人権団体からも虐待屋を受け、計画は白紙となり闇に葬られるのであった。最終決戦においてMSN-02 ジオングの機が無かったのは開発部の腐敗の招きとも諷で嘲かれている。冒頭の兵士の言葉はジオンMS開発スタッフの叫びともいえるだろう。「偉い人にはそれがわからないのです」

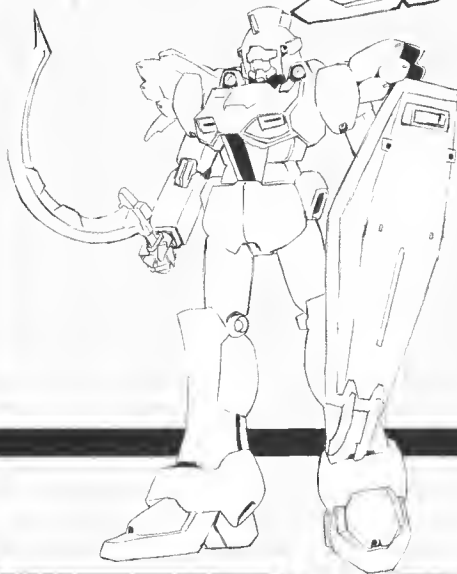
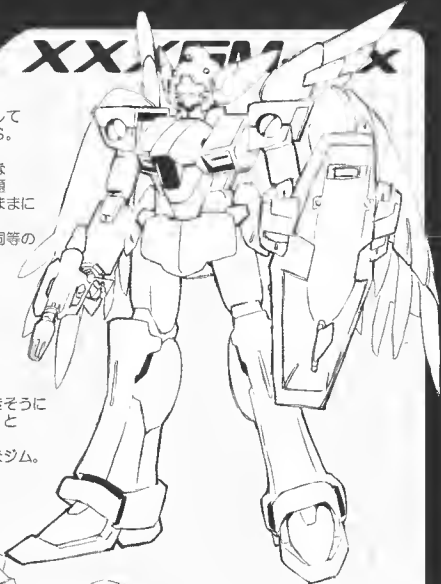
5体のジム

オペレーションメテオの支援機体として
5人の博士が設計した一般兵士用MS。
トルギスをもとにして開発された
5体のガンダムはパイロットに多大な
負担をかけるので、一般兵士でも問題
なく扱えるように、設計理念はそのままに
強力なリミッターがかけられた。
その結果、どれもただのジムとほぼ同等の
能力を有する。

(このページの2体はカスタム版を
ベースにしています)

ウイングジム→

ウイングジムの名にふさわしく、
背部に羽根を備えるジム。
標準の盾をバード形態に変形できそうに
模したシールド(でもできない)と
標準のスプレーガンを持つ、
5機のジムのなかで一番平均的なジム。



ジムサンドロッカー

白兵戦を重視したジム。
コスト面の都合で片方だけと
なったショート・ショーターが
メイン武器。
その他の武装はバルカンと
盾のツメしか実装できなかった
ため、白兵戦能力は低い。

ジムヘビーアームズ→

攻撃能力の高いジム。
頭部バルカン以外の、胸部
ガトリング、肩ホーミング
ミサイル、脚部マイクロ
ミサイルはコスト面の都合で
片側だけの実装となっている。

ジムデスサイズヘル↓

ビームコーティングが省略され、
開閉機構がオミットされてしまい
事実上可動範囲を制限する
邪魔な板でしかない
スタティッククロークと、
手持ちの小鎌ビームシクルを
備える。ハイパージャマーが
オミットされた結果、
隠密性能を全く持たない
普通のジムとなっている。

(このページの3体は
改修機版をベースにして
います)

アルトロンジム↓

ドラゴンハンクは片側のみ、
しかも伸縮機構も装備する
腕自体もオミットされた結果、
白兵能力は普通のジムと
だいたい変わらない。
アルトロンとは二頭龍という
意味である。



カラバの量産型地上用MSとして計画されたジム系MS。

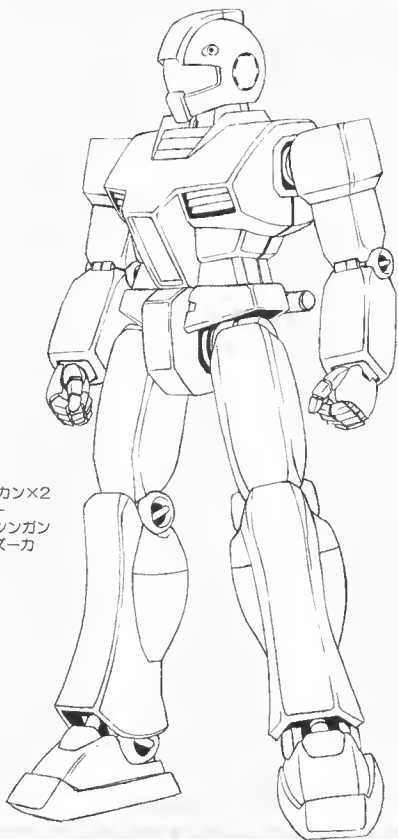
ディジェの設計思想を元に低コストの機体としてアナハイム・エレクトロニクスに開発を依頼したものの、予算の都合で採用はされなかった。

コスト削減のため、腕部にネモ、ビームライフルにネロのものを流用。

RGS-79

production
manager

ホルモン恋次郎



武装

60mmバールカン×2

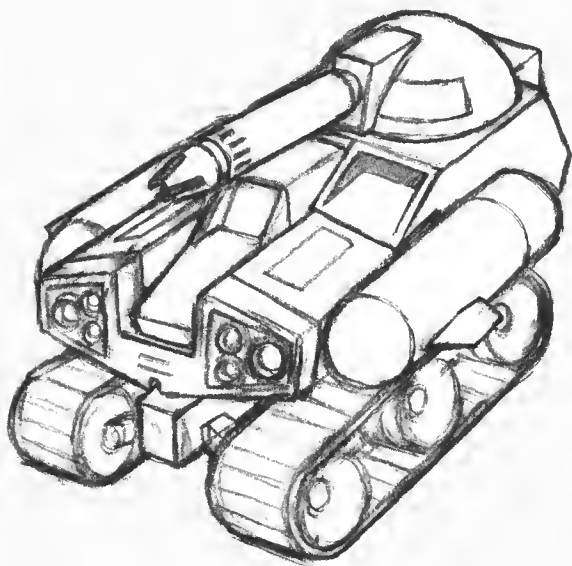
ビームダガー

120mmマシンガン

ハイパーバズーカ

連邦の反攻の決め手として大量に投入された新型MS RGM-79は投入初期こそジオン軍を圧倒したが、地球圏に広がった戦線によって予想以上の消耗率となり、もはや地球上の6カ所の生産拠点では供給が間に追いつかなくなりました。庫上層部は更なるMSの増産を決定したが、MSはこれまでとは全く趣意の異なる兵器であるため既存の工場設備では製造が難しく、また製造機械の刷新はコストと時間がかかるため、既存の生産設備をなるべく流用できる簡易生産型のMSを開発した。それがこのRGS-79である。RGM-79よりも更に製造工程を簡略化するため装甲は必要最小限のものとし、ジェネレーターも生産性を考慮した小型の物に換装されたため、ビーム系の銃が使えず、近接武器もビームダガーに変更されるなど、RGM-79よりも汎用性が制限された機体となってしまったが、それでもザクとは互角以上に戦えたため、主に船団護衛などの後方支援任務に配備された。

コア キヤタピラー

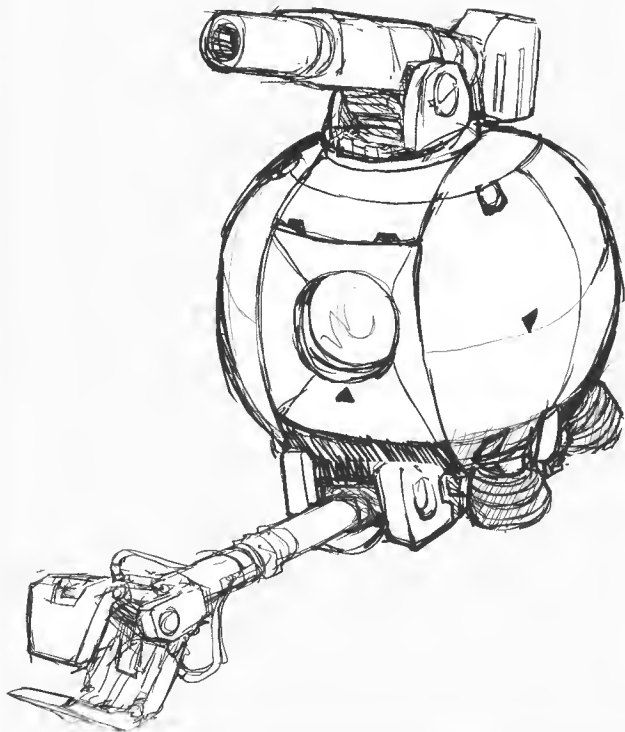


コア・ブースターをGスカイの簡易量産型と定義するならば、Gブルの簡易量産型と言えるのがこの機体である。

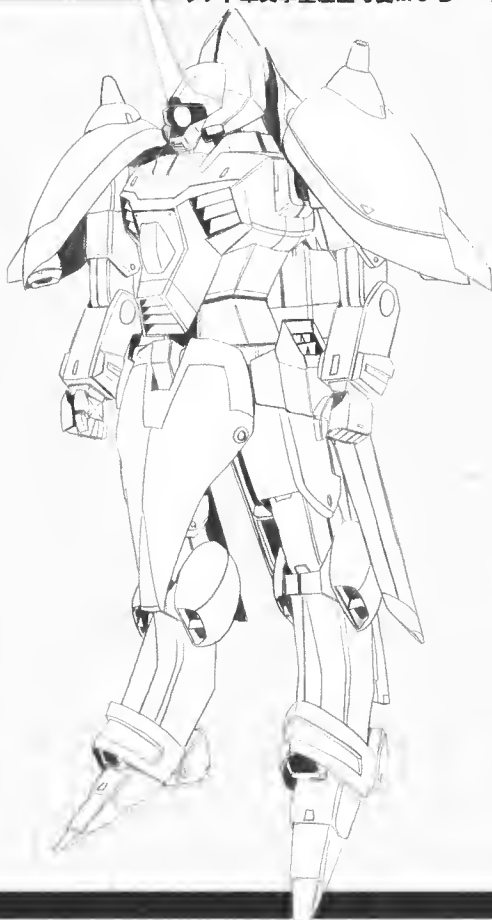
尚、ビームスプレーキャノン門のみという貧弱な武装を運用するただけに貴重な航空戦力であるコアファイターをコックピット役に徹しさせることについては疑問視する向きも少なくない。

ボール 量産型

production
manager E=MC2



さらに簡単な作業用



ザフト軍がバビと同時期に開発したMS、宇宙空間での戦闘を前提に開発された機体は高い機動性と攻撃力を誇る、またMA形態に変形した際、機動性が向上されながらも、カオスガンダムからフィードバックされた脚部のクローにより格闘戦にも対応できるという特性を持つ。

ザフト軍

生産型可変MS

ブスレ

production
manager

広川浩一郎

MA形態

変形プロセス

プロトタイプ ブスレ



Copyright © 2005 Chokudokan
All rights reserved.
Unauthorized duplication is
a violation of applicable laws.

with **今井化学**
Imai Chemistry

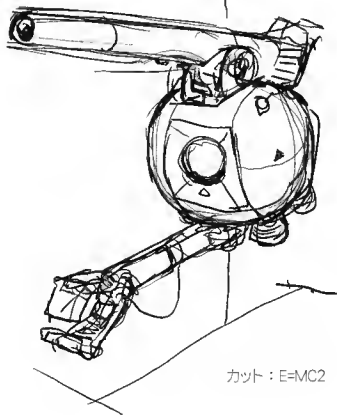
MS Mass Productions

発行 直道館&今井化学
発行日 2005年3月21日 初版発行
印刷 (株)プロス
URL http://home7.highway.ne.jp/robo_z/
<http://anzu.sakura.ne.jp/~hormone/>
<http://www.ops.dti.ne.jp/~marcy/>

連絡先 robo_z@pc.highway.ne.jp
hormone@chokudokan.forum.jp
marcy@ops.dti.ne.jp

禁無断転載・複製

量産型ボール



カット：E=MC2